

雪梅

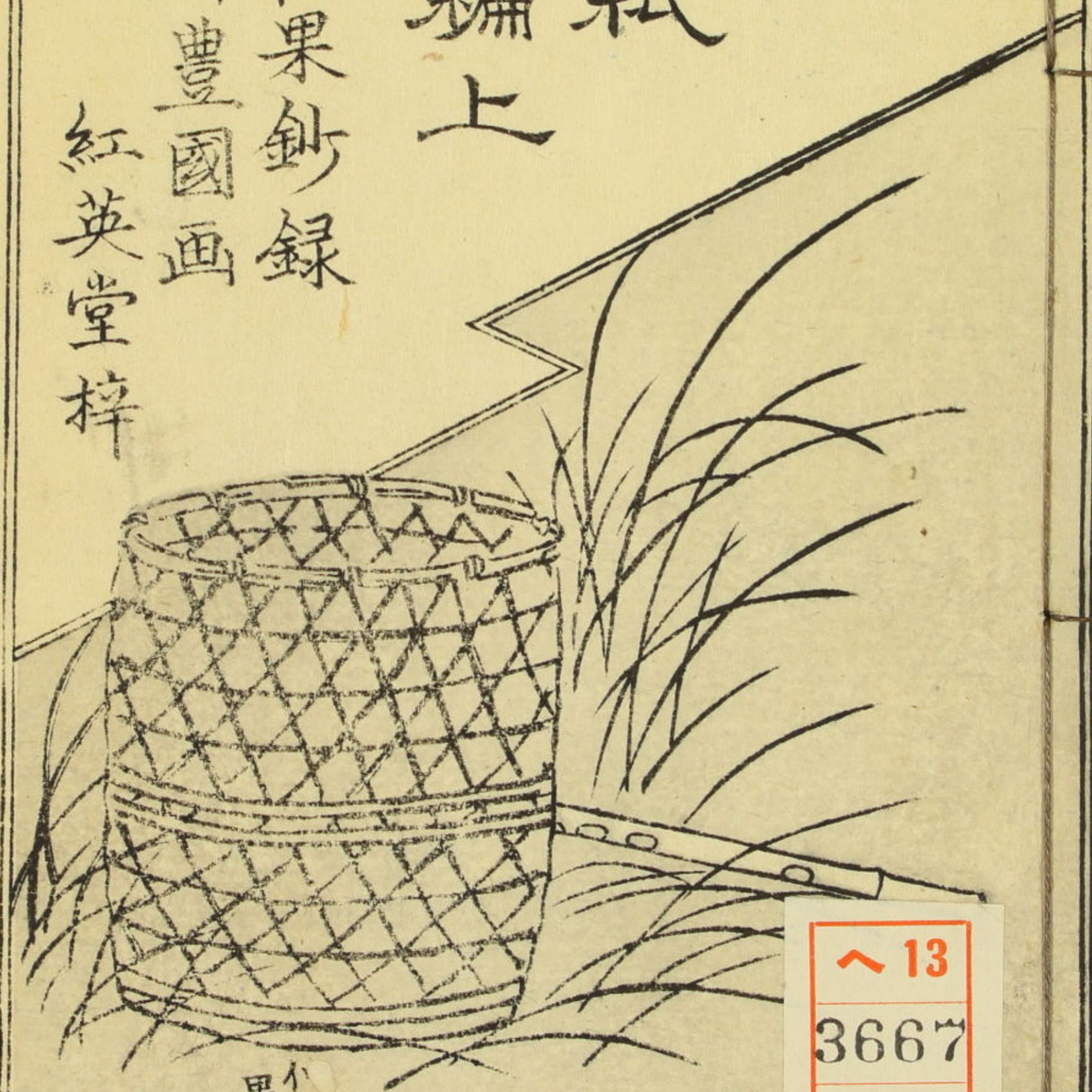
芳譚

犬草紙

四編上

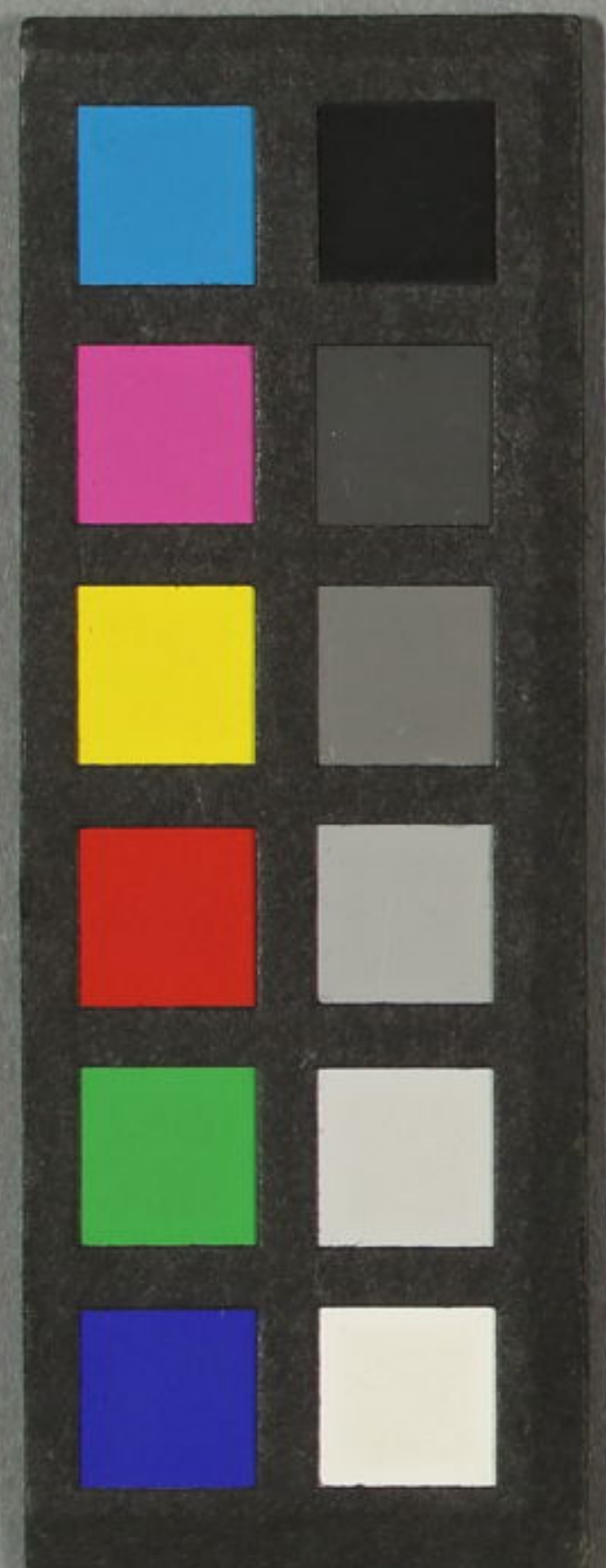
笠亭仙果鈔錄
一陽齋豐國画

紅英堂梓



画果个

~ 13
3667
4



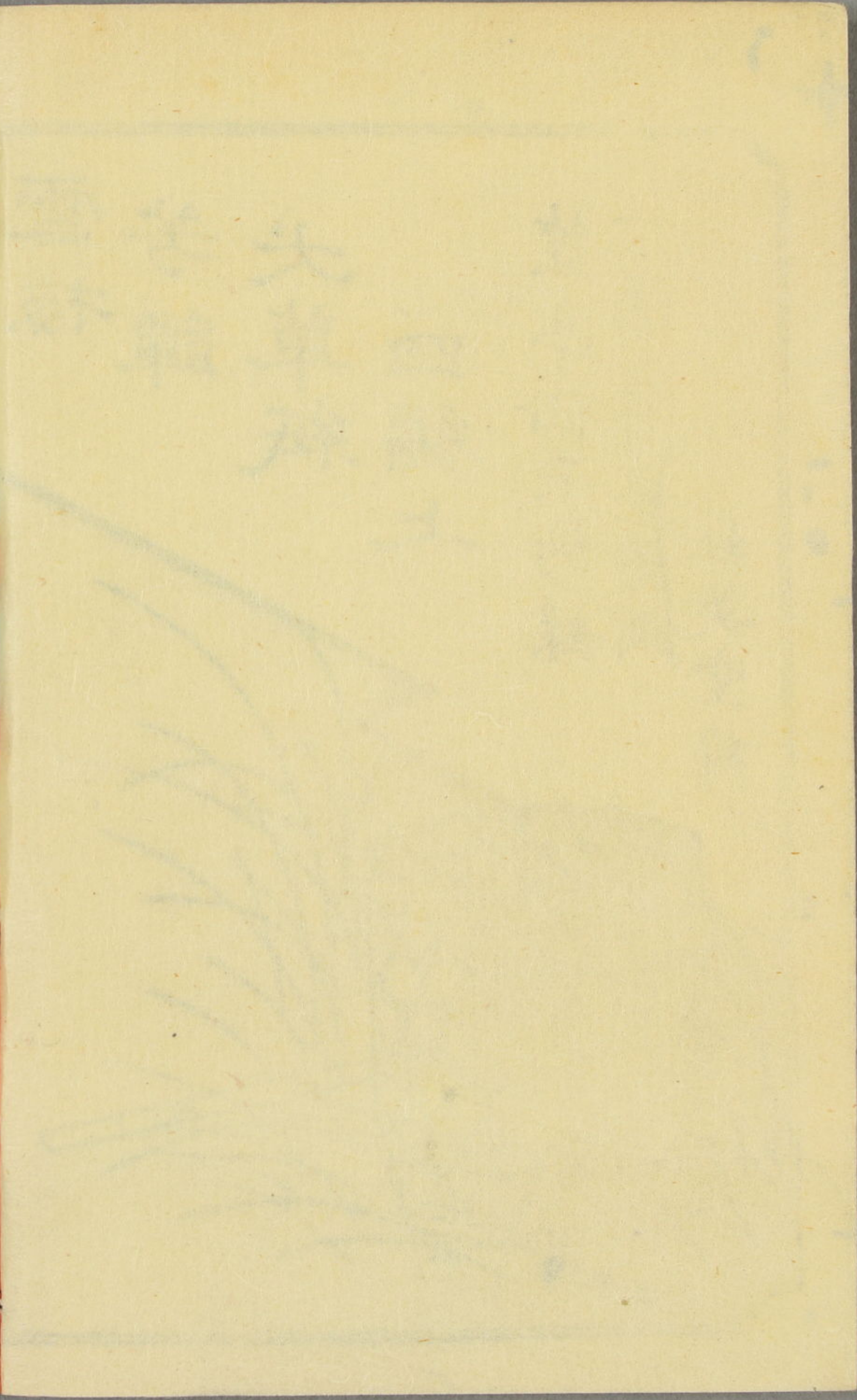


一陽齋豊国画

四編上

鶯吉板

門人岡良金





門へ13
 號 3667
 卷 4

雪梅芳譚犬の草紙四編叙

王章が怨念散て犬と生天とありて婦志姫小魅さるふり。王章が婦毒の
 情態絶てあり人の愁苦家の汚辱を嫌う所の所為少ある唯愛慾
 を遂んとするの。畢竟犬の意懐を展隨て怨念散て是物愛とす
 轉と推窮れば本は此草紙亦此理ありこれ原仙果の作あり
 筆を執画割ををた。多し不吾物とありて彼大輔が河を隔て犬を懸
 時をむ。その心配鈔録のこらむを扱ふ初編二編の二帙の目
 旅行の間小早発兌の期らるに刊字校合も他をををえ來好む故と思
 たり。當に評判き嬉しきまら二息をとりむるの仕の註文請り富山の
 溪の水よりそく書流して見つるの鈍く拙筆述われ不慮箭さる
 婦志姫小魅り如くそく書流して見つるの鈍く拙筆述われ不慮箭さる

弘化四年丁未仲冬稿成
 嘉永三年己酉孟春新刊

笠亭仙果



大須賀條見
 九歳の時滝川
 母の病を祈る

圖

五五五
 五五五

大須賀村
 豊民
 沼田助

東条の城はあつり
の口からさめたし宮田
よりのそとのさまはあつ
うはをうけまらるゝとひ
あまをうけまらるゝとひ
日のおもひはあつ
せうのよりのまはあ
まのよりのまはあ
あまのよりのまはあ
あまのよりのまはあ



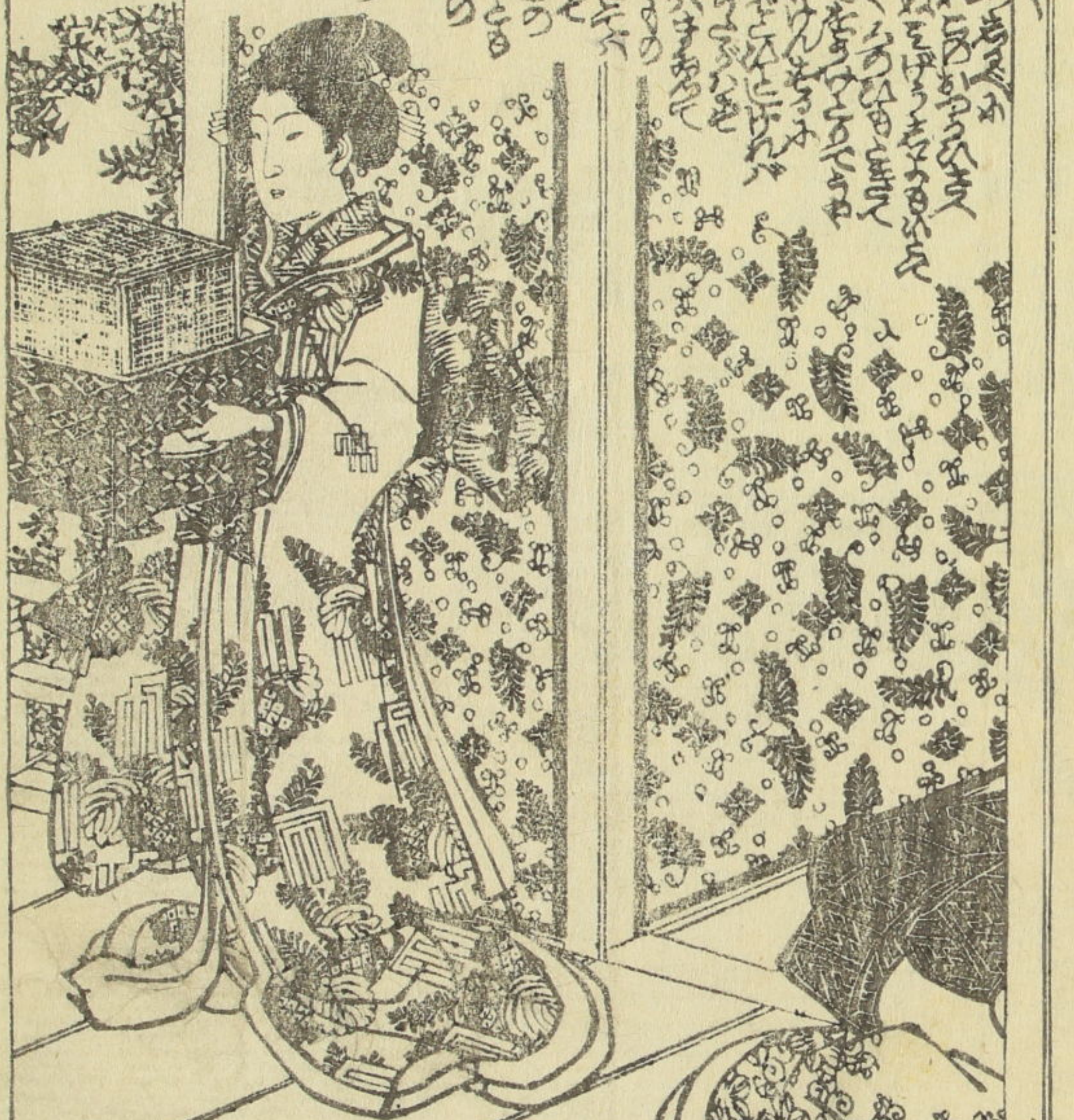
あまのよりのまはあ
あまのよりのまはあ
あまのよりのまはあ
あまのよりのまはあ
あまのよりのまはあ
あまのよりのまはあ
あまのよりのまはあ
あまのよりのまはあ
あまのよりのまはあ
あまのよりのまはあ

あまのよりのまはあ
あまのよりのまはあ
あまのよりのまはあ
あまのよりのまはあ
あまのよりのまはあ
あまのよりのまはあ
あまのよりのまはあ
あまのよりのまはあ
あまのよりのまはあ
あまのよりのまはあ

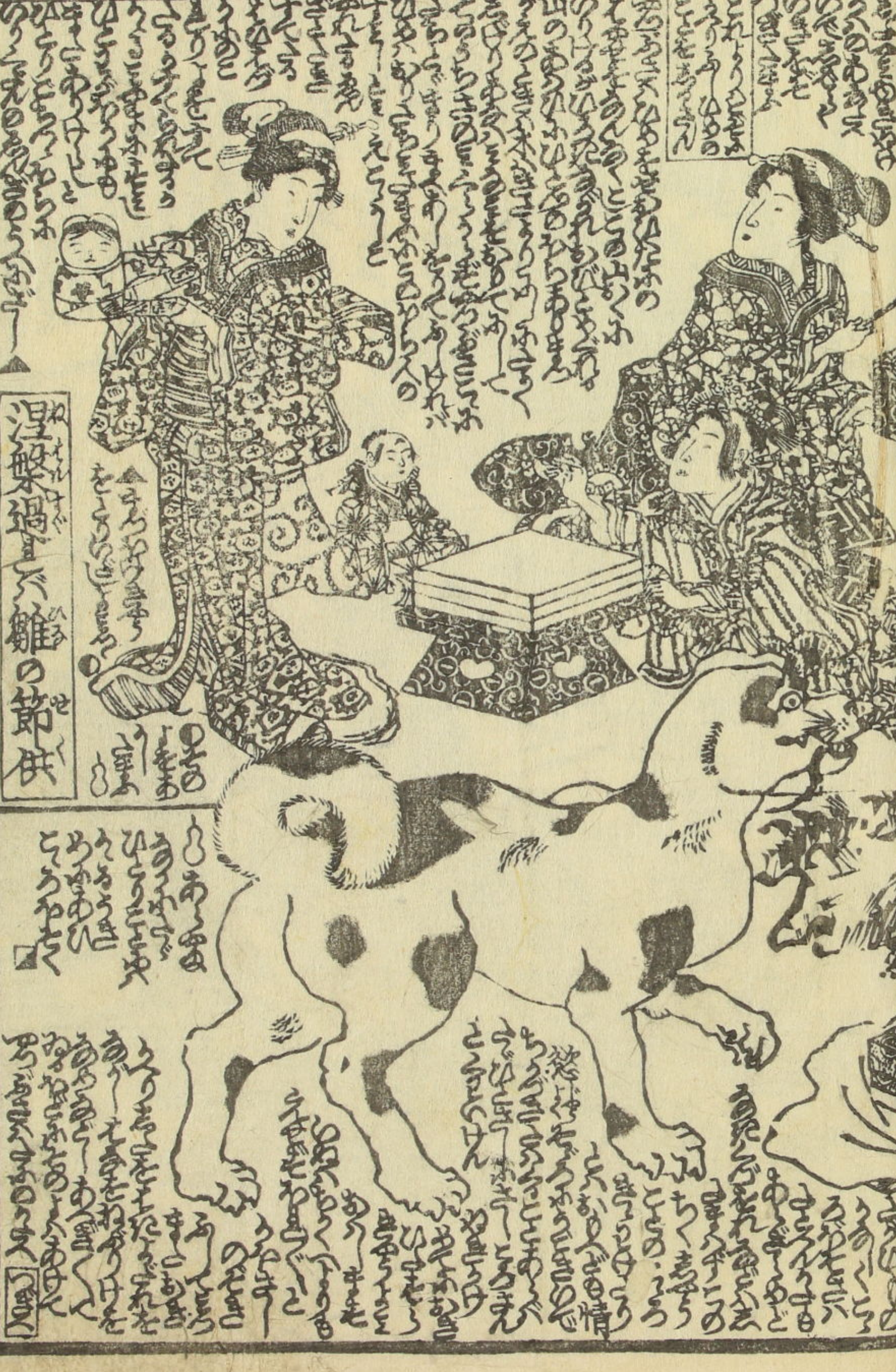


あまのよりのまはあ
あまのよりのまはあ
あまのよりのまはあ
あまのよりのまはあ
あまのよりのまはあ
あまのよりのまはあ
あまのよりのまはあ
あまのよりのまはあ
あまのよりのまはあ
あまのよりのまはあ

あまのよりのまはあ
あまのよりのまはあ
あまのよりのまはあ
あまのよりのまはあ
あまのよりのまはあ
あまのよりのまはあ
あまのよりのまはあ
あまのよりのまはあ
あまのよりのまはあ
あまのよりのまはあ



あまのよりのまはあ



涅槃場三輪の節供



一〇
 此の
 山は
 名は
 不知
 然る
 昔に
 此の
 山は
 名は
 不知
 然る
 昔に

一〇
 此の
 山は
 名は
 不知
 然る
 昔に
 此の
 山は
 名は
 不知
 然る
 昔に



此の
 山は
 名は
 不知
 然る
 昔に

一〇
 此の
 山は
 名は
 不知
 然る
 昔に

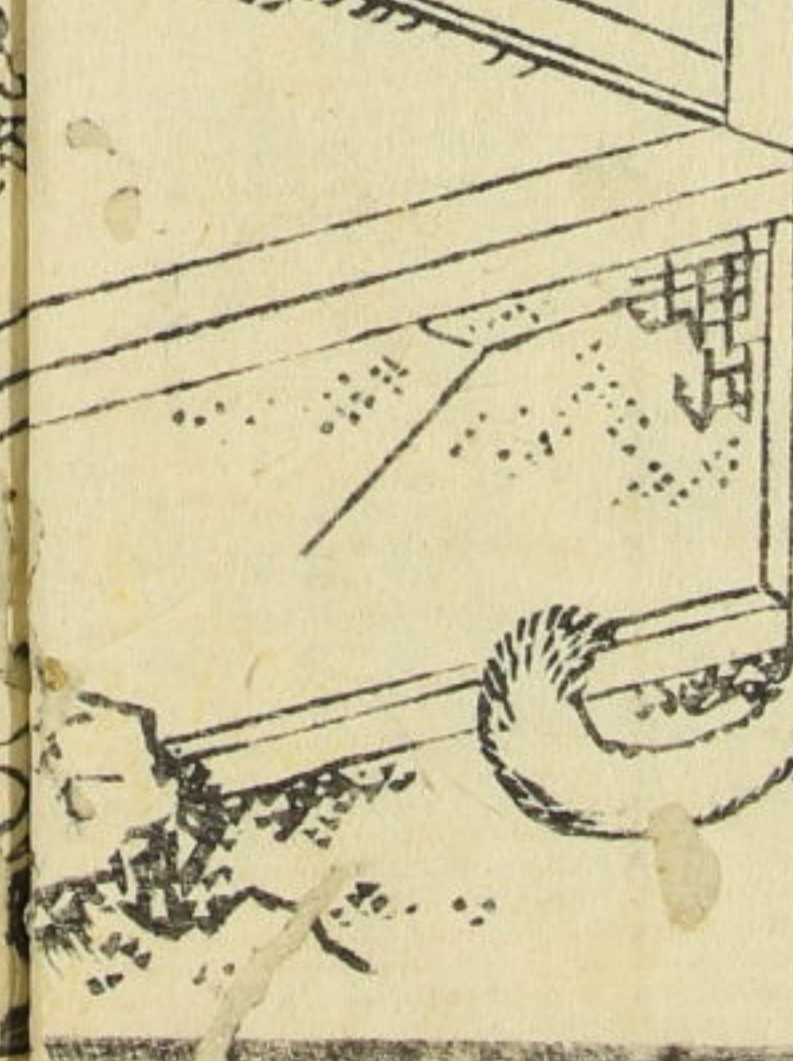
Calligraphy in the top right corner of the right page, consisting of several vertical columns of characters.

Calligraphy in the middle right section of the right page, positioned above the illustration of the woman and child.

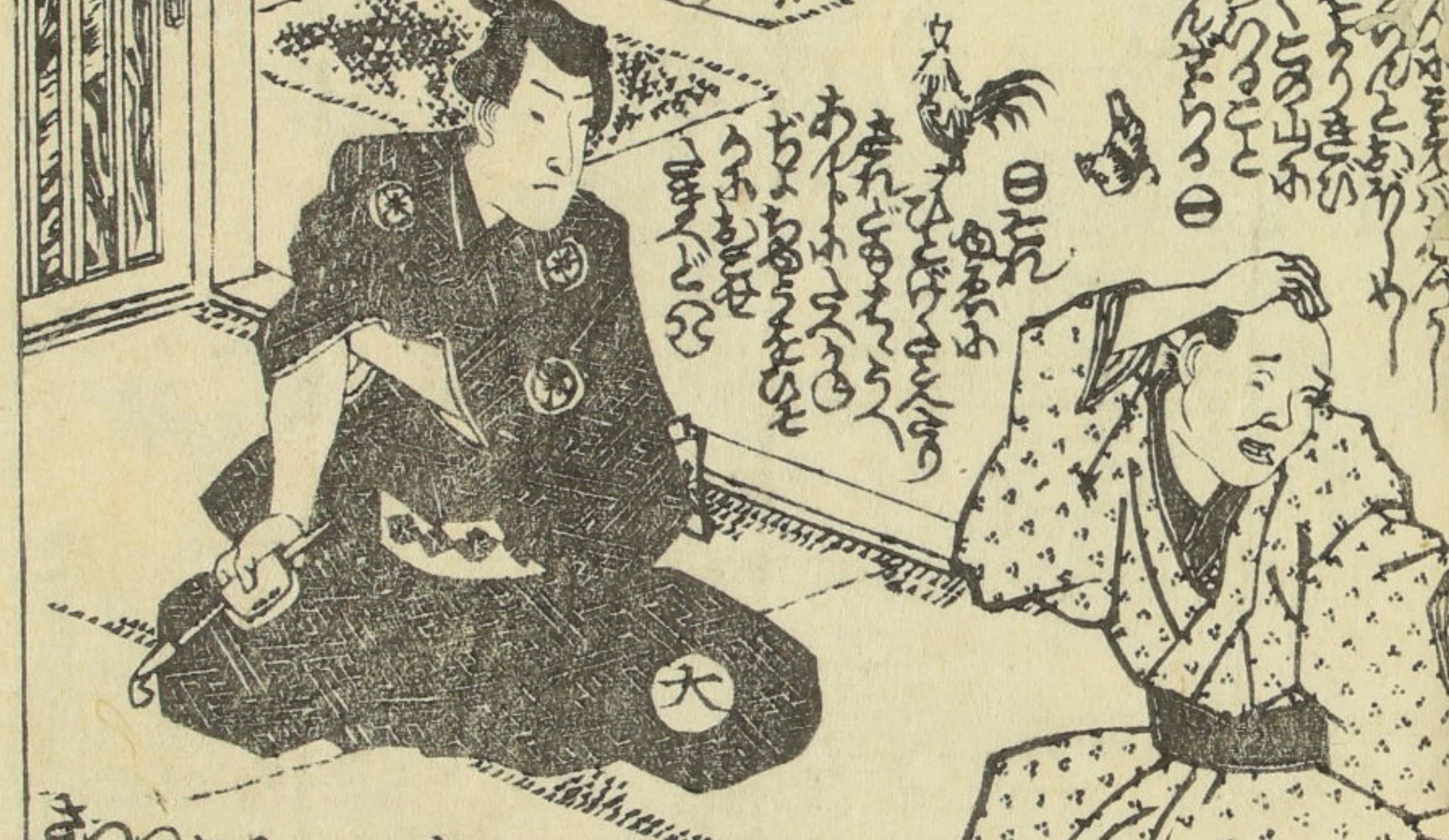


Calligraphy in the top middle section of the right page, positioned above the illustration of the man and woman.

Calligraphy in the middle left section of the right page, positioned to the right of the illustration of the man and woman.



Calligraphy in the top left section of the left page, positioned above the illustration of the man and woman.



Calligraphy in the bottom left section of the left page, positioned below the illustration of the man and woman.



【西】Hogwarts
the castle is built
on a mountain
side
The castle is
built on a
mountain side
The castle is
built on a
mountain side

▲
The castle is
built on a
mountain side
The castle is
built on a
mountain side
The castle is
built on a
mountain side

山の上
に
ある
城
は
山
の
上
に
ある

山の上
に
ある
城
は
山
の
上
に
ある

山の上
に
ある
城
は
山
の
上
に
ある

山の上
に
ある
城
は
山
の
上
に
ある



は美のる白あま
 りのりすあひの
 りのりすあひの
 りのりすあひの
 りのりすあひの

五平いとり中橋
 つま吉原
 店中
 ひろゆ
 内用
 十八

は美のる白あま
 りのりすあひの
 りのりすあひの
 りのりすあひの
 りのりすあひの

は美のる白あま
 りのりすあひの
 りのりすあひの
 りのりすあひの
 りのりすあひの

は美のる白あま
 りのりすあひの
 りのりすあひの
 りのりすあひの
 りのりすあひの

豊國画 仙果鈔録

此の仙果鈔録は、豊國画の仙果を記す。其の仙果は、
一、仙果の第一は、
二、仙果の第二は、
三、仙果の第三は、
四、仙果の第四は、
五、仙果の第五は、
六、仙果の第六は、
七、仙果の第七は、
八、仙果の第八は、
九、仙果の第九は、
十、仙果の第十は、



本 實母散

私方実母さんくも中か、
向高かへ引くうらまゐる
私方実母さんくも中か、
向高かへ引くうらまゐる

中橋

南傳馬町二丁目東側 千葉堂孝浦製

御免痴精湯 せんきのゆめ茶

御用薬所 信川上田東山堂製

おろし以 中橋南傳馬町二丁目
せんきの茶
九吹野 葛屋吉藏

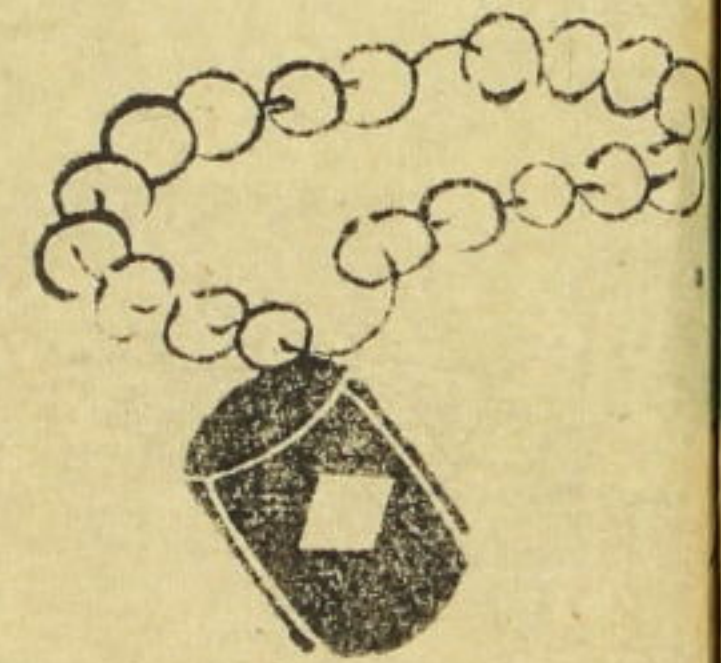
無ろし	一袋	御茶	一色
おろし	四十八銅	おろし	三六文
おろし	一色	白美茶	一色
おろし	廿四文	同房曙乃返士	一色
おろし	廿四文	同房曙乃返士	一色
おろし	廿四文	同房曙乃返士	一色

江戸小き縮寫

犬能辨帝

四編下

くまの山
まきくま
。 像
。 像
まきくまが
この
のまきくまの



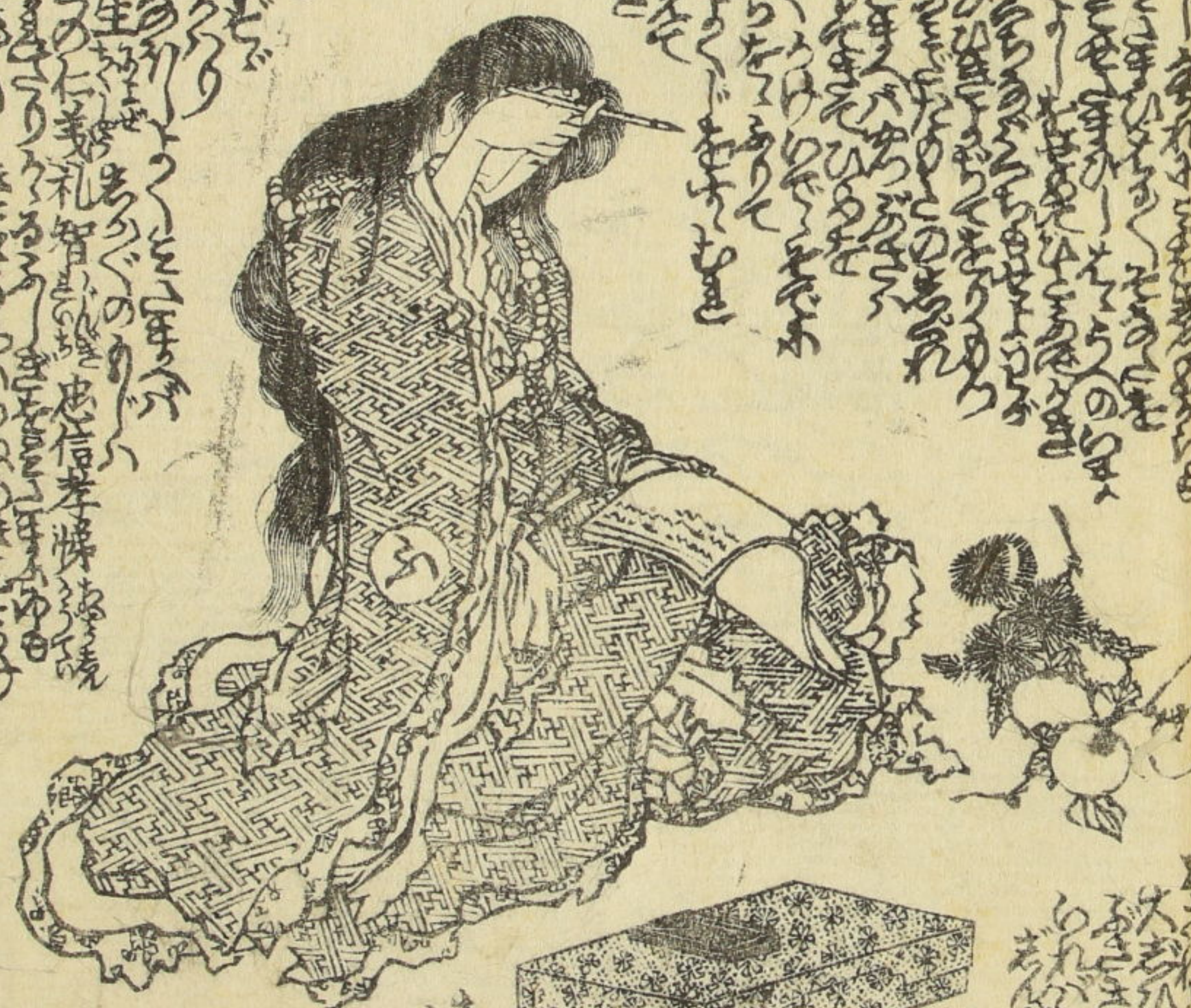
仙果寫字



仙果錄
豐國画
鷺吉版

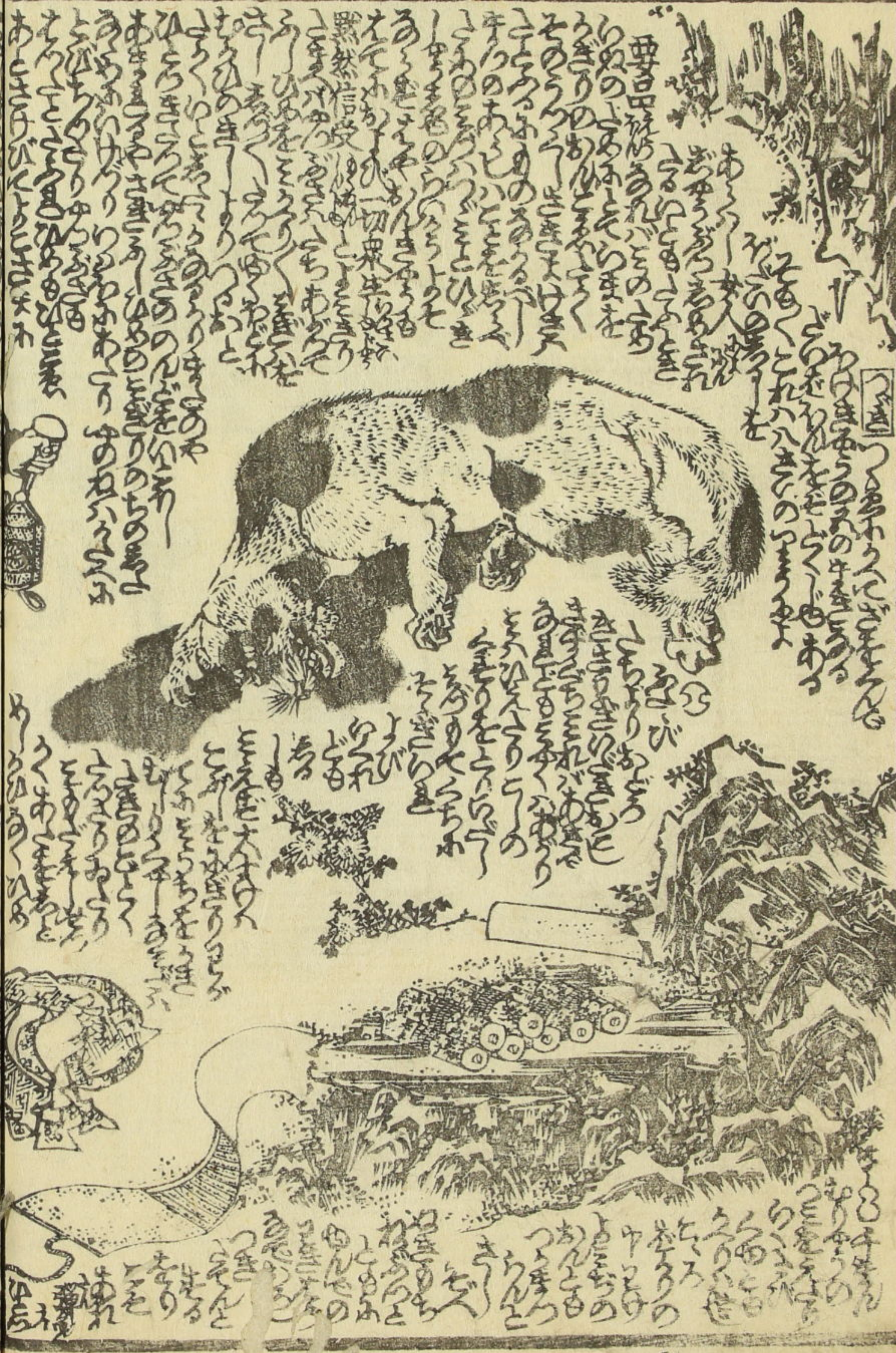


Handwritten text in vertical columns at the top of the page, likely a preface or introductory text.



Handwritten text in vertical columns at the bottom of the page, possibly a signature or commentary.

大
四





Handwritten Japanese text in vertical columns, located in the upper left quadrant of the left page. The text is written in a cursive style and appears to be a dialogue or narrative related to the scene above.

Handwritten Japanese text in vertical columns, located in the lower left quadrant of the left page. The text continues the narrative or dialogue from the scene above.

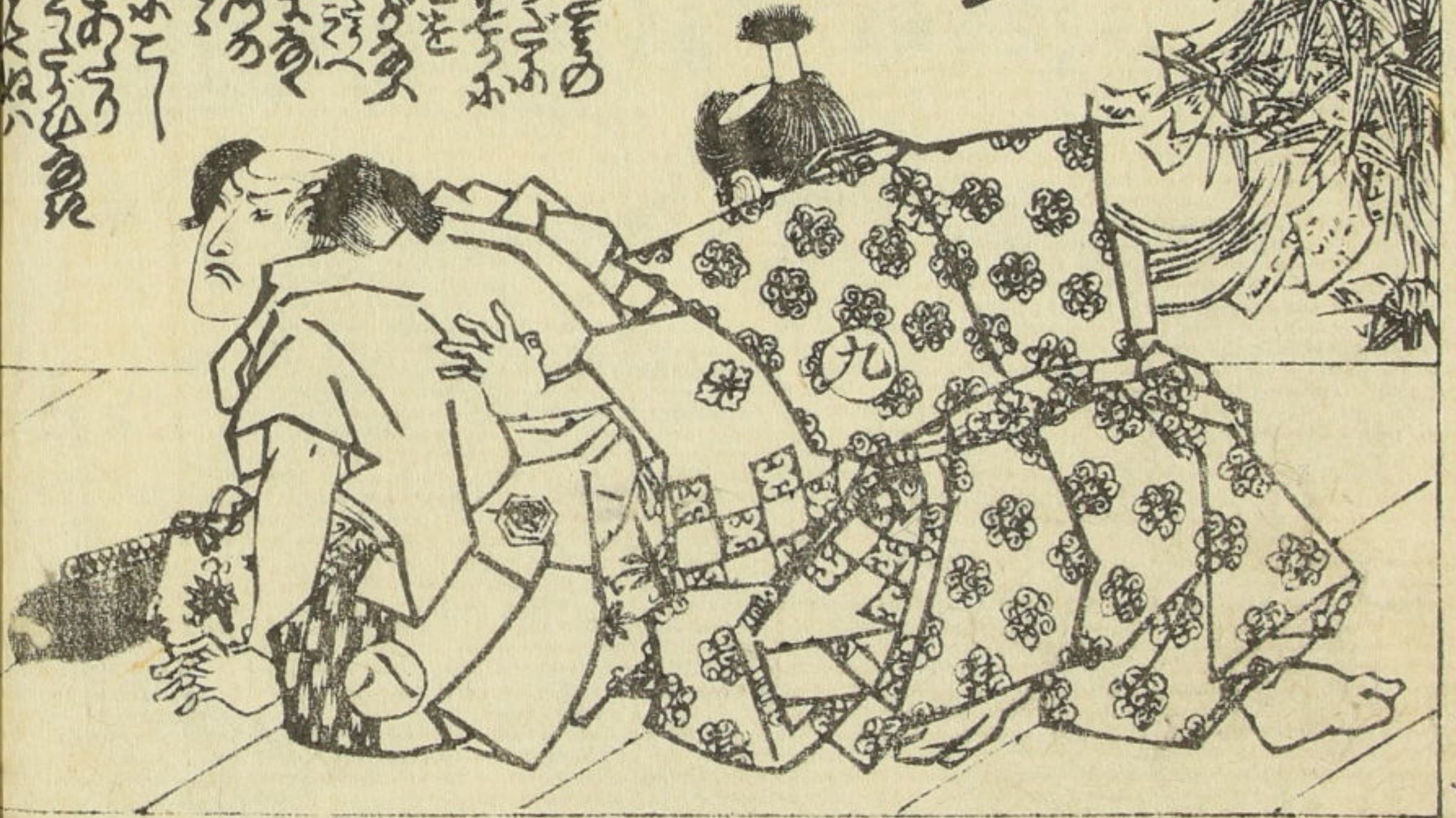
Handwritten Japanese text in vertical columns, located in the upper right quadrant of the right page. The text is positioned above the kneeling man and the standing woman.

Handwritten Japanese text in vertical columns, located in the lower right quadrant of the right page. The text is positioned below the kneeling man and the standing woman.

Handwritten text in the top right corner of the right page, including the characters '真' and '九'.

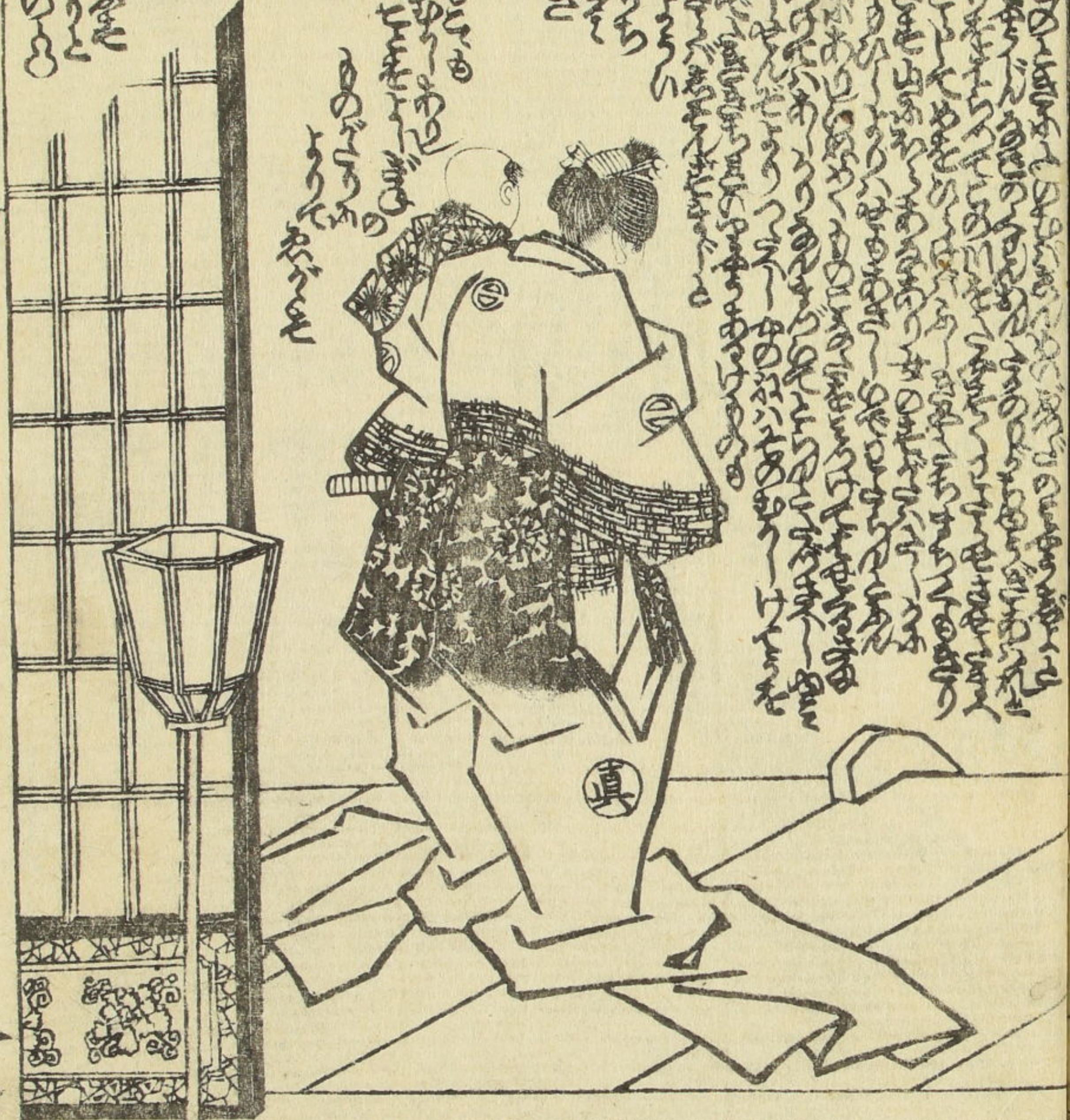


Vertical column of handwritten text on the right page, positioned to the left of the woman's illustration.



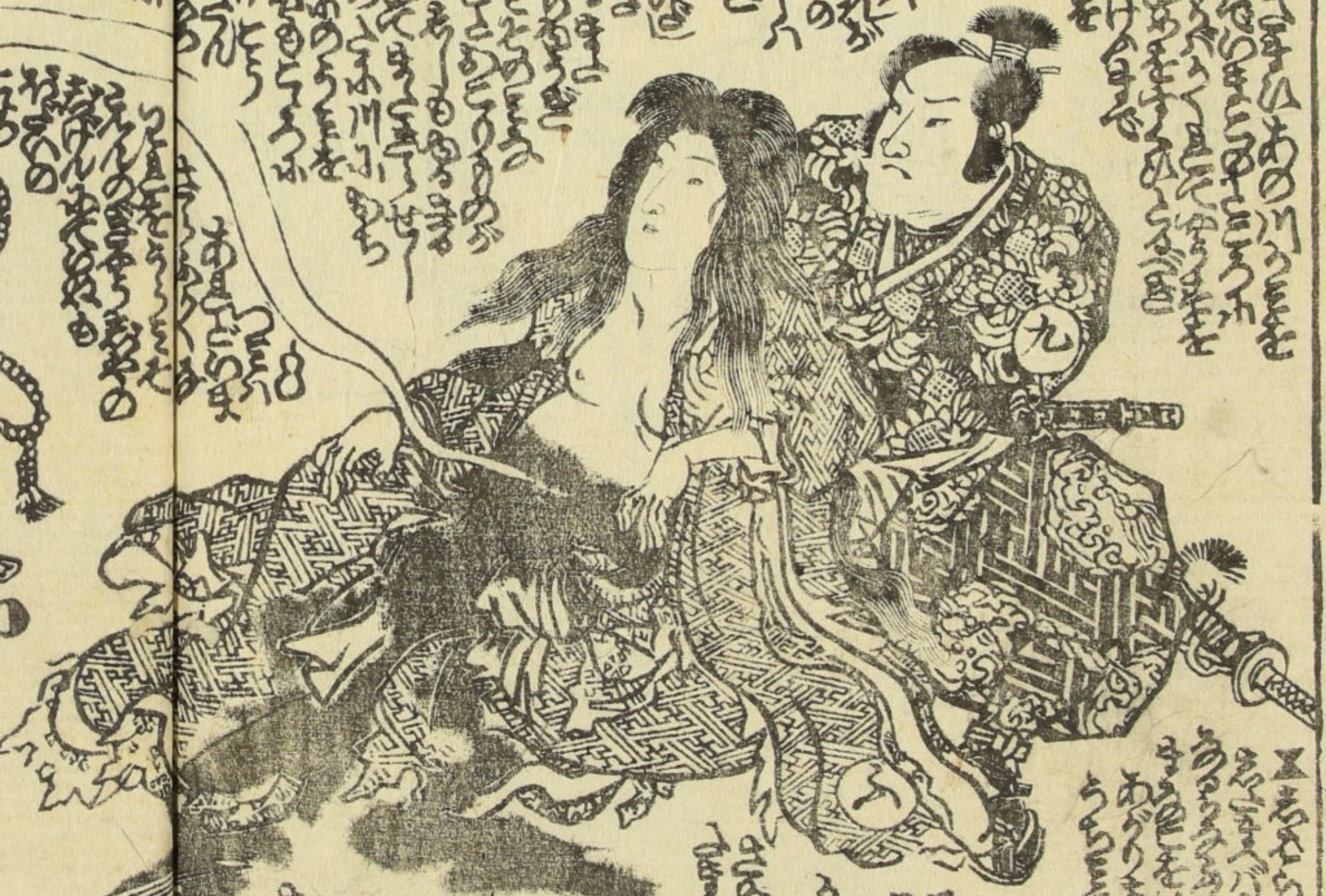
Horizontal column of handwritten text at the bottom of the right page.

Vertical column of handwritten text in the top left corner of the left page.

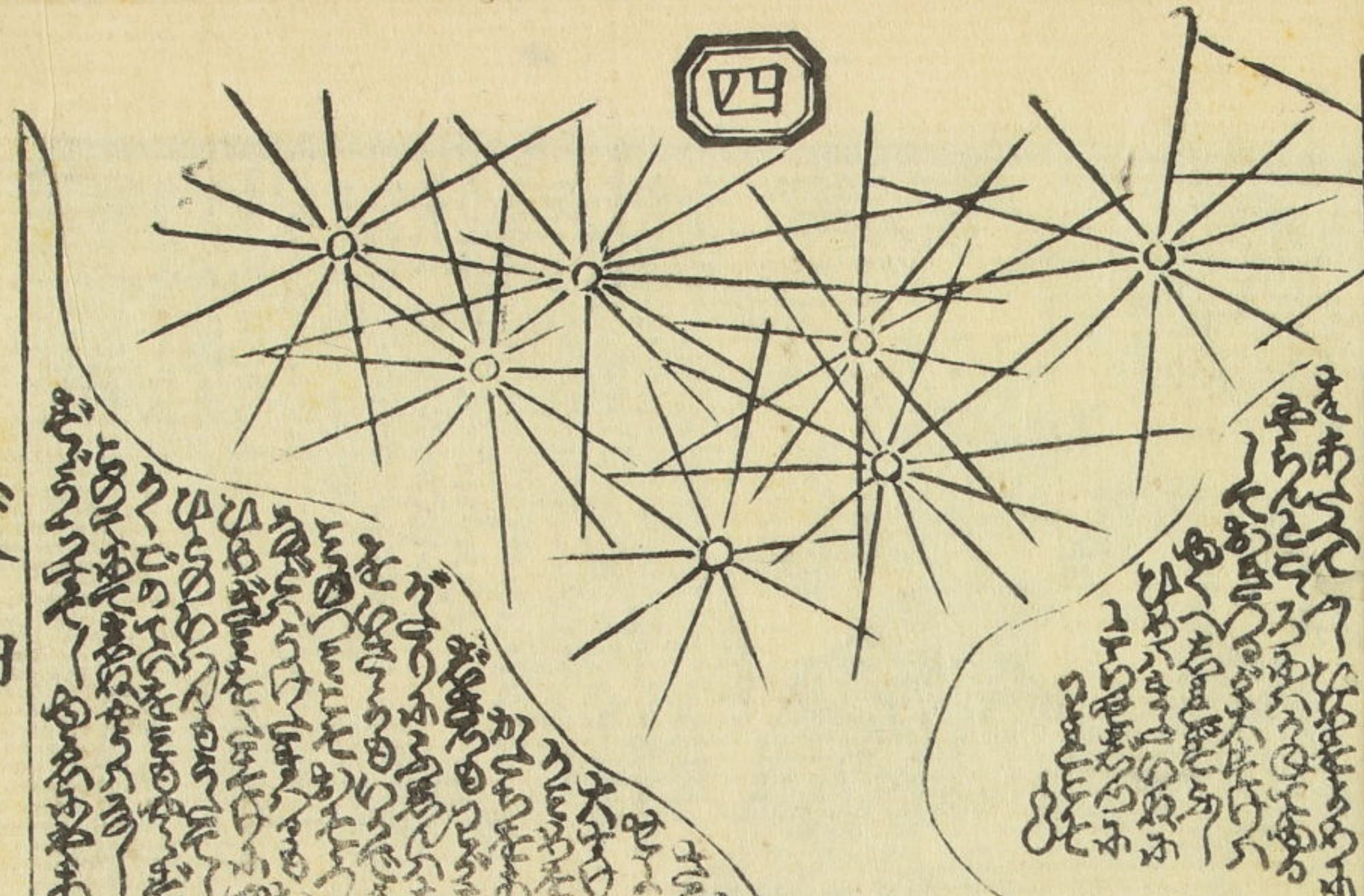


Horizontal column of handwritten text at the bottom of the left page.

Handwritten text in vertical columns, likely a narrative or commentary, located in the upper right section of the page.



Handwritten text in vertical columns, located in the lower right section of the page.



Handwritten text in vertical columns, located in the upper left section of the page, partially overlapping the diagram.



Handwritten text in vertical columns, located in the lower left section of the page.



Handwritten Japanese text in vertical columns, located at the top of the left page and the top of the right page.

Handwritten Japanese text in vertical columns, located in the middle section of the left page and the middle section of the right page.

Handwritten Japanese text in vertical columns, located at the bottom of the left page and the bottom of the right page.

Handwritten characters on the left margin of the left page.

Handwritten characters on the left margin of the left page.

Handwritten characters on the right margin of the right page.

Handwritten characters on the right margin of the right page.

嘉永五壬子新春新鐫目錄

大晦日曙草紙 十七編 京山作 十八編 國政画

犬の草紙 大編 仙果録 七編 豊國画

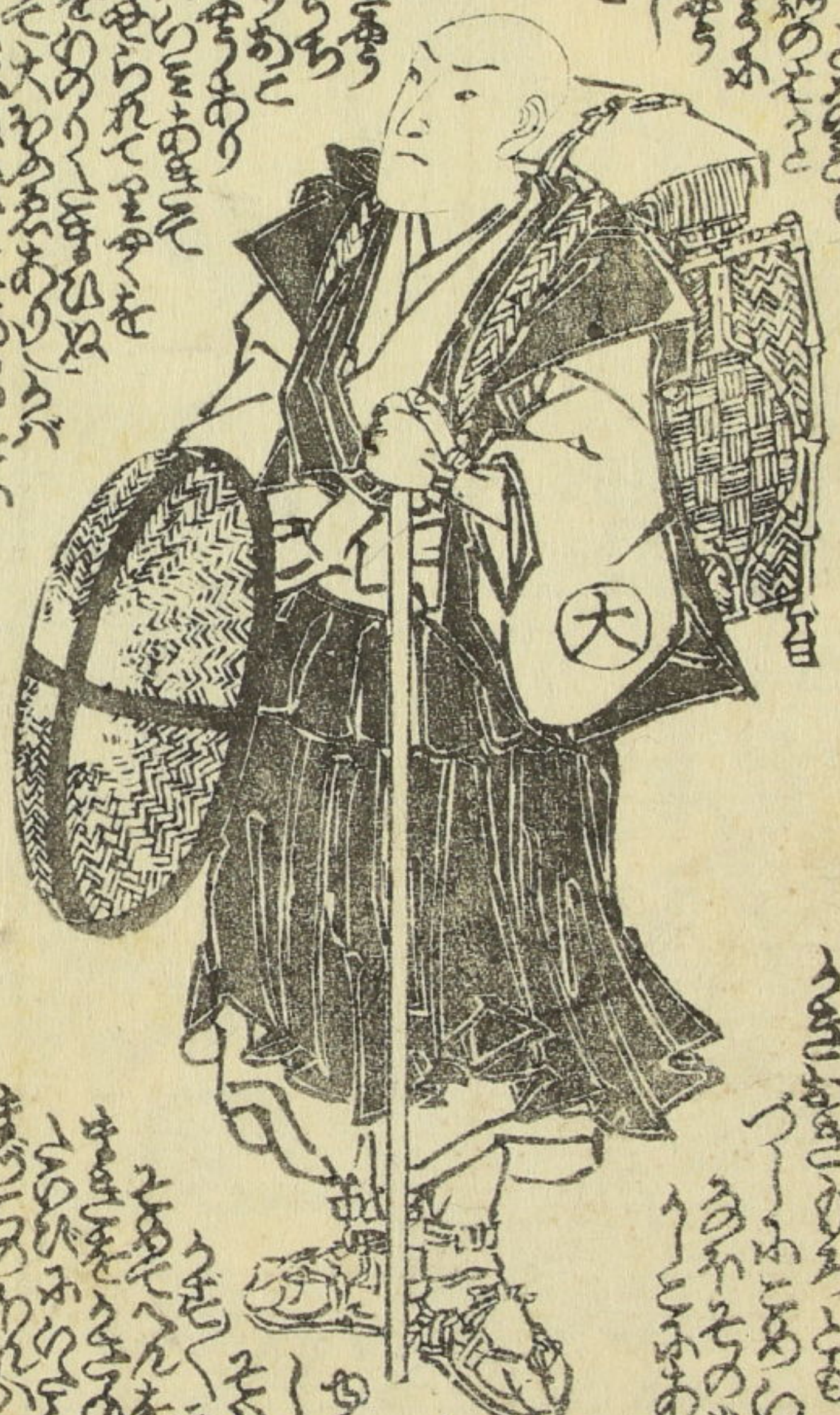
御贄美少年始 六編 一九録 七編 國輝画

俠客傳仙摸略説 六編 西馬譯 七編 國輝画

嶋巡浪間朝日奈 三編 種員譯 四編 國輝画

府郷御江戸繪圖 大奉書 六枚つゝ 六枚はき

笠亭仙果鈔録



歌川豊國画圖

新鞍田舎物語 六編 一九作 七編 國輝画

古今草紙合 七編 仙果作 八編 國輝画

連理翅山雞奇縁 初編 西馬補 二編 國政画

富士額天人於七 二冊 仙果作 若虎画

春柳錦花皿 三編 一九録 四編 國輝画

地本 東都南傳馬町二丁目 萬屋吉藏

Vertical text columns on the right side of the page, likely commentary or additional titles.

Vertical text columns below the illustration, likely commentary or additional titles.

